平成29年度　第2回理事会議事録

開催日時：平成29年6月25日（日）　10:00～12:00

開催場所：山口県総合保健会館　第3研修室

出席者（理事）：山内秀一　三輪光良　堀　健司　小田真一郎　大平知之　山本公志

齋藤茂治　渡邊征二　末田修一　師井彩絵　片岡峰雄　新町浩太郎　佐野裕一

　松永千晶　岡本修二　池田利充　内海英人　丹羽英彰

出席者（監事）：伊藤弘　大田則彦

オブザーバー（事務職員）：楠本しのぶ

欠席者：河村裕介

以上、定款第３３条の規程により理事の過半数の出席で理事会は成立。会長　山内秀一が議長となり、定款第３４条に基づく出席者の中より、議事録作成人として岡本修二理事、議事録署名人として池田利充理事、内海英人理事を選出した後、次の議案を付議した。

【**検討事項】**

1. **山口県健康福祉部との連絡協議会の議題について**

山内会長

1. 山口県内の放射線治療均てん化現況説明と県への協力要請について

現在の進行状況を山口大学の田辺悦章会員が説明する。

来年9月に下関で開催する全国大会の中で「放射線治療の均てん化の現状」についてシンポジュウムを開催するが、県職員の方にも行政の立場からシンポジストを務めていただくよう要請する。

②　診療放射線技師の養成教育に関する現状説明と情報提供のお願いについて

日本診療放射線技師会では、国民医療安全の確保と医療技術を適切に提供するための環境を整備し、がん対策基本法にも十分に対応すべく疾患の早期発見と早期治療に寄与する観点を踏まえ、診療放射線技術の向上、医療安全の推進及び診療放射線技師の資質向上は診療放射線教育にとって必須であると考える。このような観点から診療放射線技師の大学養成教育の必要性を平成9年度の総会において採択し、大学基準協会に対して大学養成教育の必要性を要望すると同時に厚生労働省に対しては、専修学校教育を認可しないよう働きかけていた。その結果、現在では国立・私立大学の保健学部・学科として標準化した。平成18年度より本会において診療放射線技師教育制度検討委員会を設置し、2年間かけて診療放射線技師教育の今後のあり方について詳細を検討し、国民から信頼される診療放射線技師の提供に向け、高度医療の推進に応えるべく修得単位の追加と卒後臨床研修の制度化など診療放射線技師の基礎教育をさらに充実させる必要があるとの結論に至り、厚生労働省をはじめ関連機関に働きかけ、厚労省医政局局長通知「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」を受けた業務拡大に対応すべく必須修得単位数の追加を要望した。このような中、いまだに各都道府県で3年制の専門学校設置の動きがあるが、山口県診療放射線技師会においても日本診療放射線技師会と同じ動きをとっており、行政所管においては下記の要望に対しご理解とご支援を賜りたいと同時に、県内の3年制専門学校設置の動き等の情報提供を頂きたい。

記

診療放射線技師基礎教育の年限を4年以上とし、教育内容および教育体制の充実

教育内容の抜本的見直しに伴う卒後臨床研究制度化の実現

以上

1. 今後の健康フェスタ開催の有無について

今年度は、健康フェスタが中止となったが、来年度以降の健康フェスタ開催の有無について教えて頂きたい。また、来年は明治維新150年を迎え山口県がきらら博記念公園にてイベントを予定しているので内容を確認する。

以上の議題を事務局より山口県に依頼状を提出する。

1. **全国学術大会のポスターについて**

山内会長

　別紙にて日本旅行、田辺悦章会員、中原佑基会員の計８案と挿入絵を提示。この案を参考に原案をとりまとめたい。背景を角島大橋と関門橋、レイアウトはA案と田辺案、挿入絵はC案の河豚イラストと吉田松陰肖像画、サブテーマは“時代の潮流を見極める”、字体はゴシック調含めた2案。この内容にて仮作成を日本旅行に依頼、伊藤監事に業者との折衝をお願いする。

7月9日開催のJART理事会でポスター原案の承認を得、9月に函館で開催される学術大会で

ポスターを配布したい。

【**報告事項】**

**１．中四国会長会議の報告**

山内会長

1. 平成29年度中四国診療放射線技師協議会会費が、会員一人あたり200円から300円に値上がりし、請求通り納入した。
2. JART主催の「医療画像支援分科会」が岡山で平成29年11月12日に開催される。
3. JARTより「平成29年度診療放射線業務に関する調査」のアンケート回答状況が全国で悪い為、締め切りを6月末まで延期した。診療放射線技師の地位向上を目的とし厚生労働省に提出する資料としては、1000件以上のアンケート結果が必要である。
4. 第25回CSFRT が平成29年12月2日～3日まで徳島県“あわぎんホール”にて開催される。テーマは“それぞれの最適化を目指して”とし、目標参加予定数：600名、目標演題数：150演題、懇親会会場：ホテルサンシャイン徳島アネックス館（予定参加者数：250名）
5. 岡山県診療放射線技師会の会長が藤田仁さんから岡山大学の大野誠一郎さんに、島根県診療放射線技師会の会長が森脇郁生さんから島根県立中央病院の山田正雄さんに交代した。
6. 2018年広島県で開催予定であるCSFRTの会期：平成30年11月3日～4日まで公益社団法人広島市文化財団JMSアステールプラザにて開催される。テーマは“過去から未来への提言”とし、大会長は今田直之氏・隅田博臣氏で予定している。
7. 2019年高知県で開催予定であるCSFRTの会期：平成31年9月21日～22日まで高知市文化プラザ“かるぽーと”にて開催される。テーマは“画像維新―進む改革・求める核心”で予定している。
8. 全国大会プログラム案について、今年度函館で開催される全国大会の演題数が532演題となった。　山口大会でもその演題数に対応すべく最終日もランチョンセミナーを組み込み、演題数を口述発表と示説演題の合計500演題とし、演題がさらに増えた場合は示説演題にて対応するプログラム変更とした。
9. 第34回日本診療放射線技師学術大会進捗状況ついて、大会サブテーマの“時代の潮流を見極める”を次回開催されるJART理事会にて確認・決定する。メインテーマは“国民と共にチーム医療を推進しよう”に決定された。
10. 大会プログラムの特別講演2題ならびに公開フォーラム3題と教育講演5題の内容は当会が決めなければならない。
    1. 公開フォーラムに旭酒造株式会社　前社長　桜井博志氏、しものせき水族館　獣医師　進藤英朗氏、放送作家　Wマコト（中山真・中原誠）を候補とし調整したい。
    2. 教育講演に人工知能（AI）について山口大学　システムバイオインフォマティクス教授　浅井義之氏、応用リモートセンシングについて山口大学副学長　山口大学応用衛生リモートセンシング研究センター長　三浦房紀氏、臓器移植について山口大学第二外科　教授　永野浩昭氏を候補とし調整したい。あと臨床に関する講演を取り入れたい。各理事に講演者について情報、協力をお願いする。

大平常任理事

講演者の講演料及び交通費は決まっているのか？

山内会長

　講演料は最高額５万円、交通費も大会経費にて出せるが、診療放射線技師の講演に関してはJARTの取り決めで講演料１万円、交通費及び宿泊費は出ない。

山内会長

1. 函館全国大会への実行委員参加者の大会担当について別紙にて割り振ったのでお願いしたい。山口大会では実行委員長プラス３名の副実行委員長を中心とした当日の会場役割分担をお願いする。また、それに伴う担当者との連絡体制についても今後、検討する。

**２．第73回総会・学術大会決算報告**

山内会長

　河村理事が欠席により代理で決算報告をする。別紙の報告書で総会・学術大会・公開講座に係る総支出が696,071円となった。

予算は事業費として学術大会・公開講座の23万円に対し178,405円で昨年度とほぼ同じ支出となった。総会支出は管理費の313,956円。その他の交通費については岩国開催の為、昨年度より増額に転じたが総支出については、昨年度とほぼ同じ支出であった。

丹羽理事（大会準備委員長）

　皆様の協力により総会・学術大会が盛会裏に終わった事に感謝申し上げる。

**３．胃がん検診X線撮影従事者講習会について**

末田学術担当理事

　平成29年7月8日～9日に開催する。今年から年4回開催の内、夏に第1～3回の土日開催とし、冬に第4回を開催予定である。土曜日は開業医勤務等を考慮して15時以降の開催とした。今回の試みは夏で開催すると遠方からの講師が招聘しやすく、かつ土日開催とする事でディスカッション等の時間が取りやすくなる。今回は土日で開催場所が異なるため、周知をお願いしたい。また、土日開催に関する意見等があれば、お知らせ願いたい。

**４．後援依頼について**

山内会長

　下記事業について過去にも後援依頼があり承諾したことを報告する。

　事業名：リレー・フォー・ライフ　ジャパン2017やまぐち

　開催日：平成29年9月16日～17日

開催場所：周南市陸上競技場

主催者：公益財団法人日本対がん協会リレー・フォー・ライフ　ジャパンやまぐち実行委員会

　事業目的：がん患者支援のチャリティーイベント

　後援：厚生労働省　周南市　山口県医師会　他

**５．地域再編成についての委員会発足について**

三輪副会長

　現在8地域にて総会、講習会等を行っているが地域格差が大きく広域化等の意見もあり、齋藤常任理事を委員長とし委員会を発足する。この委員会で地域における現在の問題点や今後の進め方に関する意見をまとめ、今後理事会に報告する予定である。

**６．その他**

堀副会長

　定年退職に伴い連絡先が変更になる。連絡先は後ほど通知する。

山本常任理事

事務局より公益法人電子申請を平成29年6月12日に提出、6月23日手続き完了を報告する。

　山口県総合保健会館の喫煙所が変更した。また、平成29年10月1日より敷地内禁煙となり、喫煙場所もなくなることを報告する。

渡邊学術担当理事

　平成29年7月9日に開催されるフレッシャーズセミナーの受講者数が現時点で9名、6月末まで受け付ける。また、講師依頼者には通知しているが、配布資料作成のため開催の1週間前には渡邊まで提出をお願いした。

　平成29年8月5～6日に開催される統一講習会の受講者数が現時点で14名、7月20日前後が締め切りである。最低催行人数が20名である。

山内会長

　次回理事会開催日を平成29年8月4日とする。同日の山口県健康福祉部連絡協議会は放射線治療の均てん化現況説明の為、山口大学医学部附属病院の田辺悦章副技師長に出席していただき、協議する。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第３４条に基づき、会長及び監事並びに議事録署名人がこれに記名押印する。

　一般社団法人山口県診療放射線技師会　平成２９年度　第2回理事会

　　山口県診療放射線技師会　会長　山内秀一

議事録署名人　理事　池田利充

理事　内海英人

監事　伊藤　弘

監事　大田則彦